

**朝霞市転入・転出意識調査  
結果報告書  
(速報版)**

**令和6年(2024年)2月  
朝霞市**

# 目次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の方法	1
3.	集計・分析のための地区区分	1
4.	調査項目	1
5.	回収結果	1
6.	報告書の見方	2
II	回答結果（転入者）	2
1.	世帯構成とお住まいについて	2
2.	朝霞市への転入の「きっかけ」及び「理由」について	7
III	回答結果（転出者）	10
1.	世帯構成とお住まいについて	10
2.	朝霞市から転出する「きっかけ」及び「理由」について	15

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

この市民意識調査は令和8年度(2026年度)から10年間のまちづくりの指針となる「第6次朝霞市総合計画」を策定するに当たって、本市に長く住み続けていただくための施策検討に向けた基礎資料として、転入・転出者の属性と転入・転出の理由等を把握することを目的に実施したものである。

## 2. 調査の方法

- ① 調査対象 (1)転入者(調査期間中に朝霞市に転入する世帯)  
(2)転出者(調査期間中に朝霞市から転出する世帯)
- ② 対象者数 (1)及び(2)のそれぞれ100世帯以上を想定
- ③ 調査方法 総合窓口課の窓口で転入(転出)手続きを行う者に配付、  
郵送による回収、インターネットによる回答を併用
- ④ 調査期間 令和5年12月15日送付、令和6年1月15日締切

## 3. 集計・分析のための地区区分

A地区	大字上内間木、大字下内間木
B地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

## 4. 調査項目

- ① 世帯構成とお住まいについて
- ② 転入(転出)のきっかけと理由について

## 5. 回収結果

### 【転入者】

- ① 調査票配布数 142票
- ② 有効回収数 16票(紙回答:8票、Web回答:8票)
- ③ 有効回収率 11.3%(紙回答:5.6%、Web回答:5.6%)

### 【転出者】

- ① 調査票配布数 66票
- ② 有効回収数 9票(紙回答:8票、Web回答:1票)
- ③ 有効回収率 13.6%(紙回答:12.1%、Web回答:1.5%)

## 6. 報告書の見方

### ①用語について

- ・ 図表中の「n」(=number)は、設問に対する回答者数を示す。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文や図表中で省略した表現を用いている。

### ②集計について

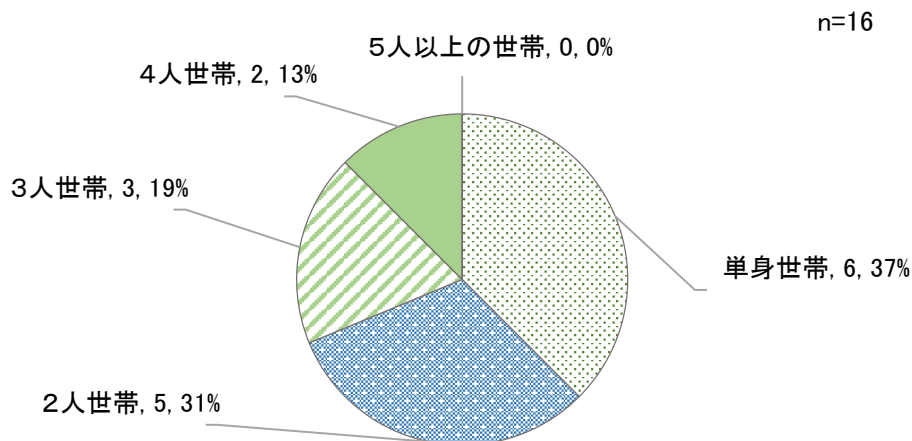
- ・ 比率は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100%にならない場合がある。なお、集計上の無回答には、無回答のほか無効な回答を含んでいる。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として比率(%)を算出している。このため、合計が100%を超えることがある。

## II 回答結果（転入者）

### 1. 世帯構成とお住まいについて

#### (1) 今回転入される方の世帯構成について（○印は1つ）

転入者の世帯構成については、「単身世帯」が6世帯(37.5%)で最も多く、次いで「2人世帯」5世帯(31.3%)、「3人世帯」3世帯(18.8%)となっている。

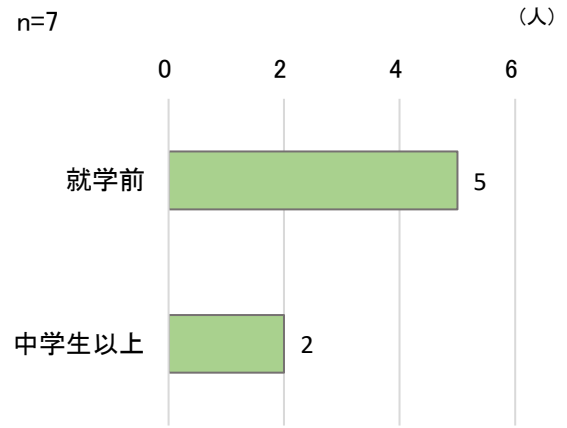
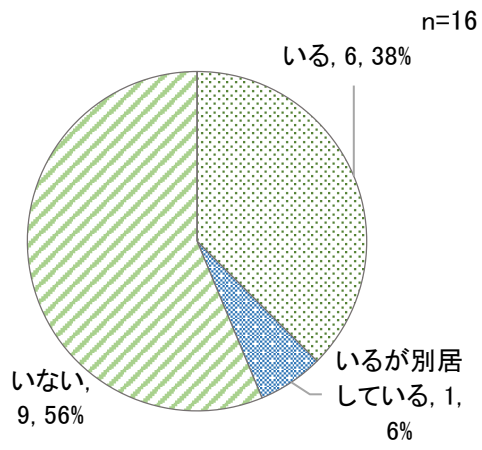


#### (2) お子様について

子どもがいる世帯は6世帯(37.5%)である。また、年齢層は「就学前」が5人、「中学生以上」が2人となっている。

【世帯における子どもの有無】

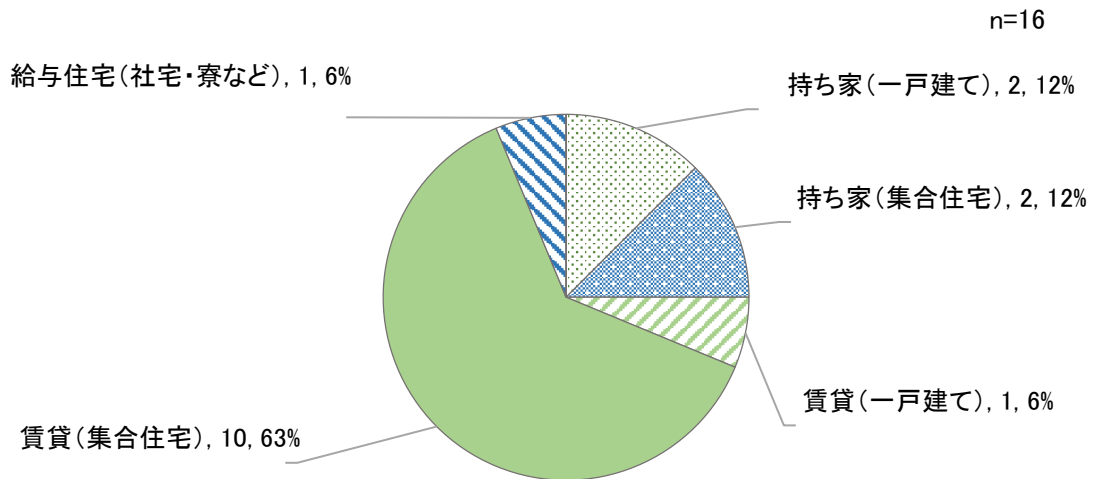
【子どもの年齢層】



### (3) お住まいになる住宅について

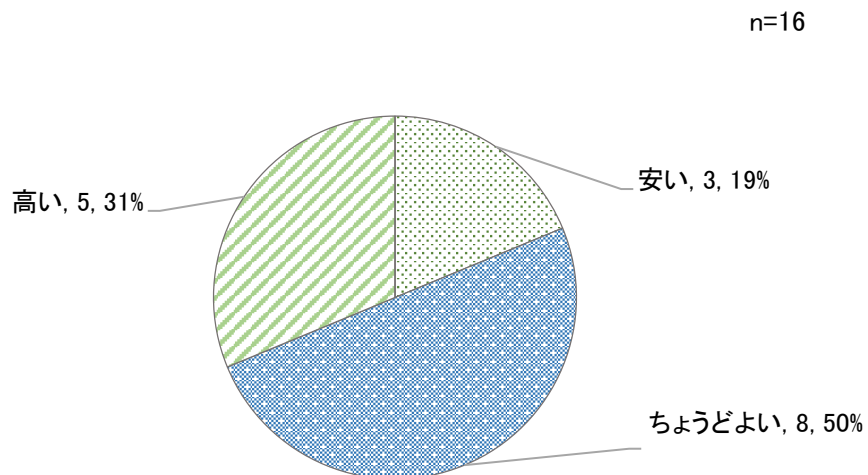
#### ① 住宅の形態

住宅の形態は「賃貸住宅(集合住宅)」が10世帯で62.5%を占めている。その他の形態では、「持ち家(一戸建て)」、「持ち家(集合住宅)」が2世帯で12.5%となっている。



#### ② 価格・家賃の印象

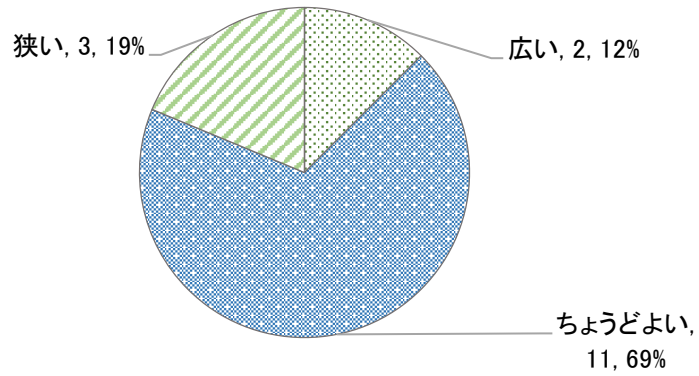
住宅の価格又は家賃の印象については、「ちょうどよい」が8件(50.0%)と最も多く、次いで、「高い」が5件(31.3%)、「安い」が3件(18.8%)となっている。



### ③ 広さの印象

住宅の広さの印象については、「ちょうどよい」が 11 件 (68.8%) と最も多く、次いで「狭い」が 3 件 (18.8%)、「広い」が 2 件 (12.5%) となっている。

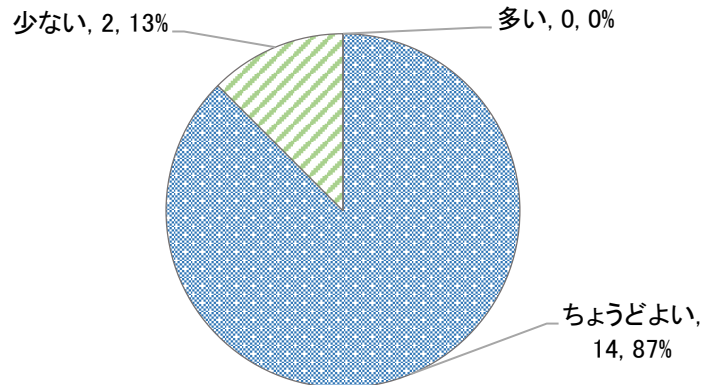
n=16



### ④ 部屋数の印象

住宅の部屋数については、「ちょうどよい」が 14 件 (87.5%) で過半数を占めている。「少ない」が 2 件 (12.5%) である。

n=16

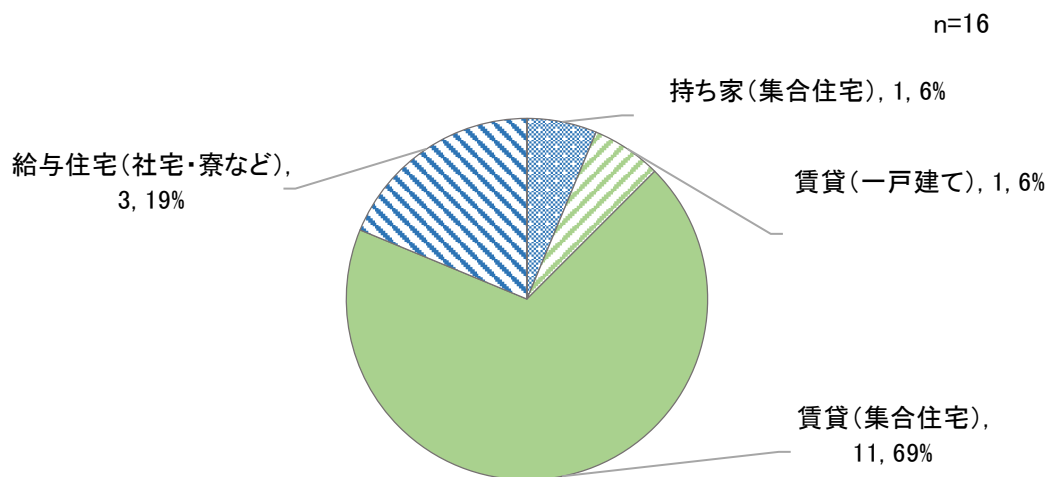


(4) 朝霞市へ転入する直前までお住まいだった自治体について (自治体名を記入)

(調整中)

(5) 転入前のお住まいの形態について (〇印は1つ)

転入前の住居の形態については、「賃貸(集合住宅)」が11世帯(68.8%)と過半数を占めており、以下、「給与住宅(社宅・寮など)」が3世帯(18.8%)、「持ち家(集合住宅)」「賃貸(一戸建て)」が1世帯(6.3%)で続いている。

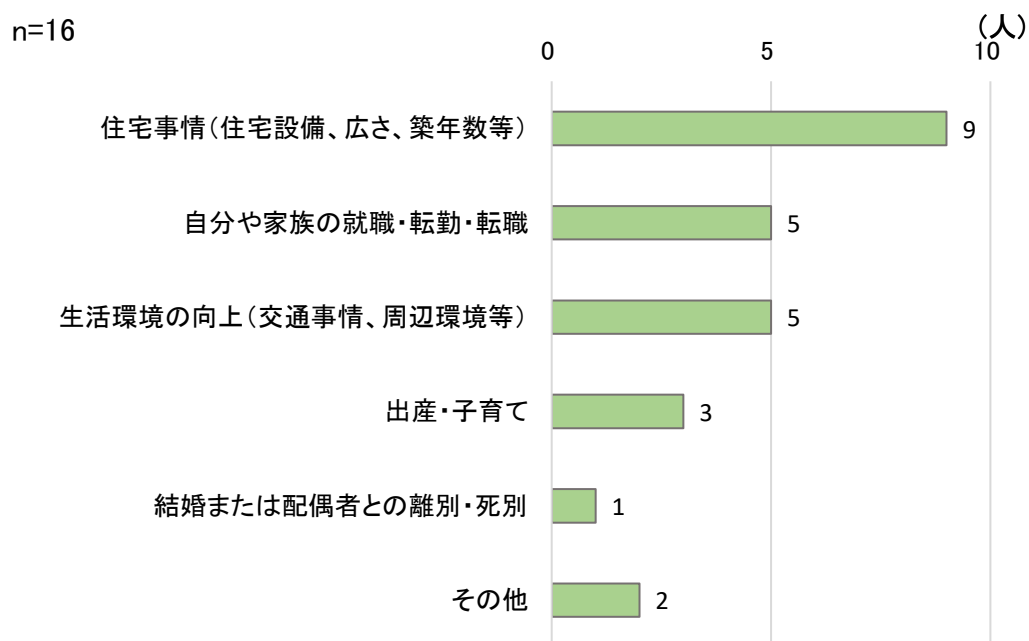




## 2. 朝霞市への転入の「きっかけ」及び「理由」について

### (1) 主な転入のきっかけについて（当てはまるものすべて）

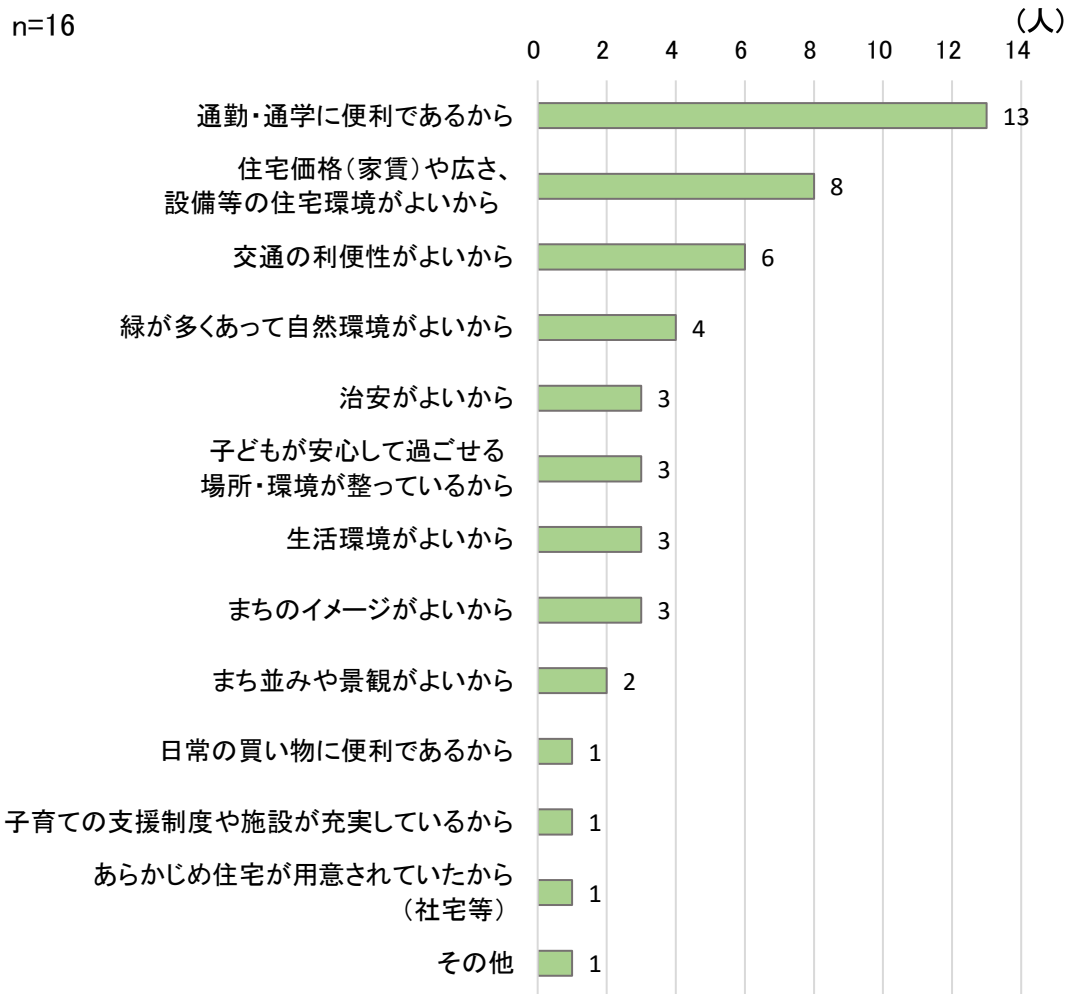
主な転入のきっかけについては、「住宅事情（住宅設備、広さ、築年数等）」が9件（56.3%）で最も多く、「自分や家族の就職・転勤・転職」、「生活環境の向上（交通事情、周辺環境等）」が5件（31.3%）、「出産・子育て」が3件（18.8%）で続いている。



**(2) 朝霞市を居住地に決めた理由について（当てはまるものすべて）**

本市を居住地に決めた理由については、「通勤・通学に便利であるから」が 13 件(81.3%)と最も多く、3 番目に多い「交通の利便性がよいから」の 6 件(37.5%)と合わせて、他地域に行きやすいことが評価されている。

2 番目に多いのは、「住宅価格(家賃)や広さ、設備等の住宅環境がよいから」の 8 件(50.0%)である。

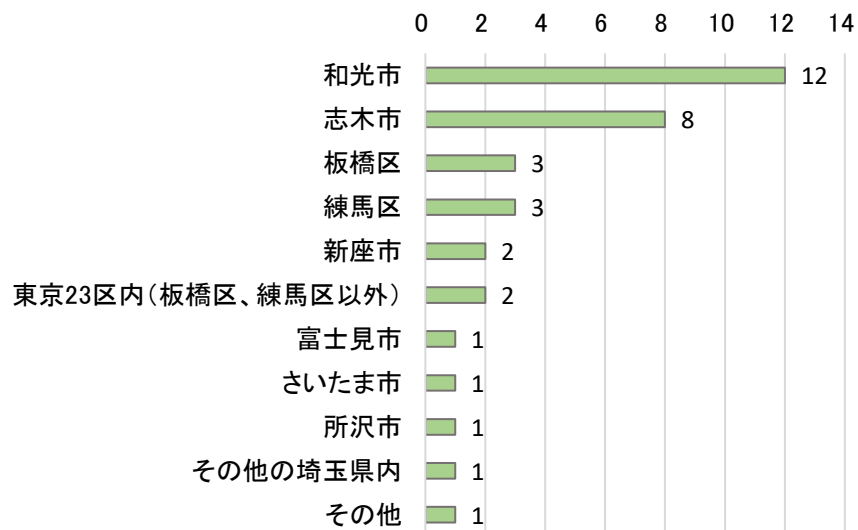


(3) 朝霞市以外で居住を検討した自治体について(当てはまるものすべて)

朝霞市以外で居住を検討した地域について見ると、本市周辺の「和光市」が12件で最も多く、「志木市」(8件)が続いている。

n=16

(人)



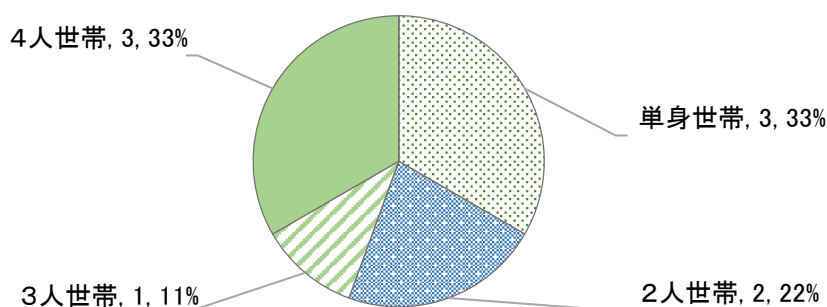
### Ⅲ 回答結果（転出者）

#### 1. 世帯構成とお住まいについて

##### （1）今回転入される方の世帯構成について（○印は1つ）

転出者の世帯構成については、「単身世帯」、「4人世帯」が3世帯（33.3%）で最も多く、次いで「2人世帯」が2世帯（22.2%）、「3人世帯」が1世帯（11.1%）である。

n=9

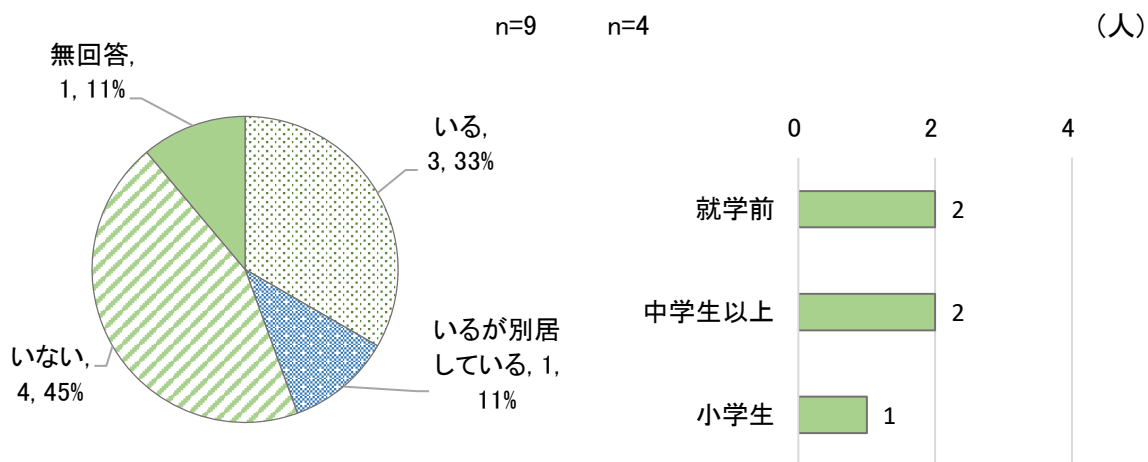


##### （2）お子様について

子どもがいる世帯は4世帯（44.4%）で、その内1世帯は子どもと別居している。また、子どもの数は5人で、「就学前」と「中学生以上」がそれぞれ2人、「小学生」が1人であった。

##### 【世帯における子どもの有無】

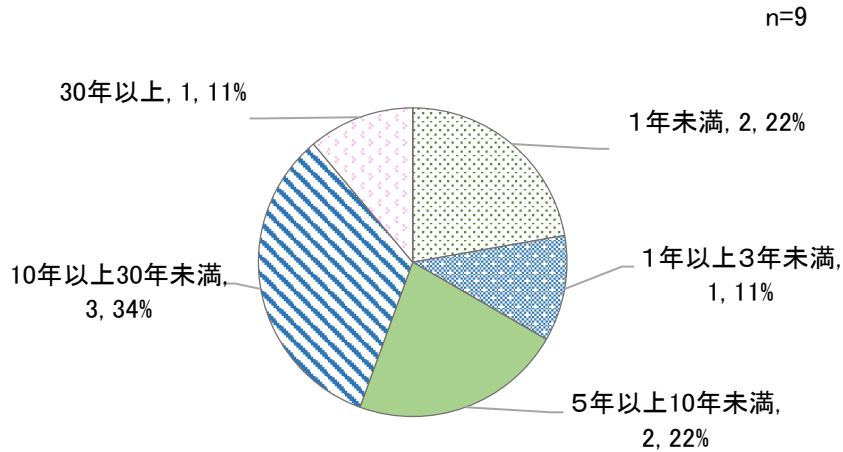
##### 【子どもの年齢層】



**(3) 朝霞市に居住していた年数について (〇印は1つ)**

本市に居住した年数については、「10年以上30年未満」が3世帯(33.3%)で最も多く、「1年未満」、「5年以上10年未満」がそれぞれ2世帯(22.2%)である。

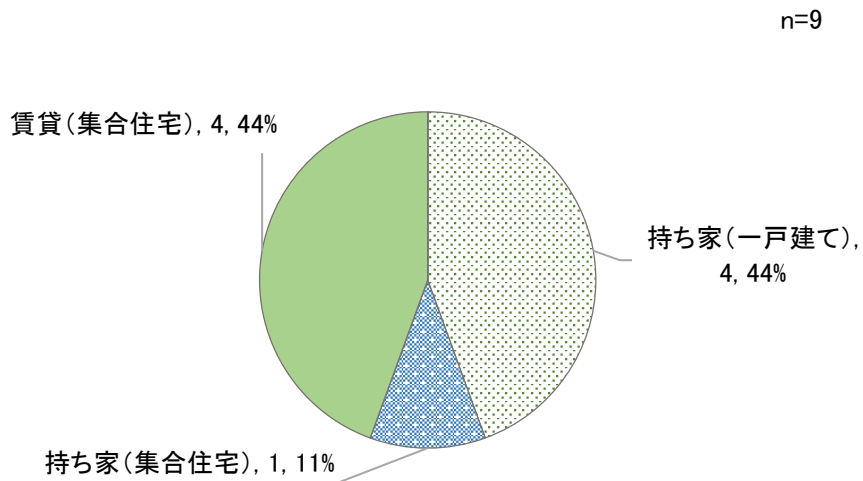
10年未満が5世帯で、過半数を超えている。



**(4) お住まいだった住宅について**

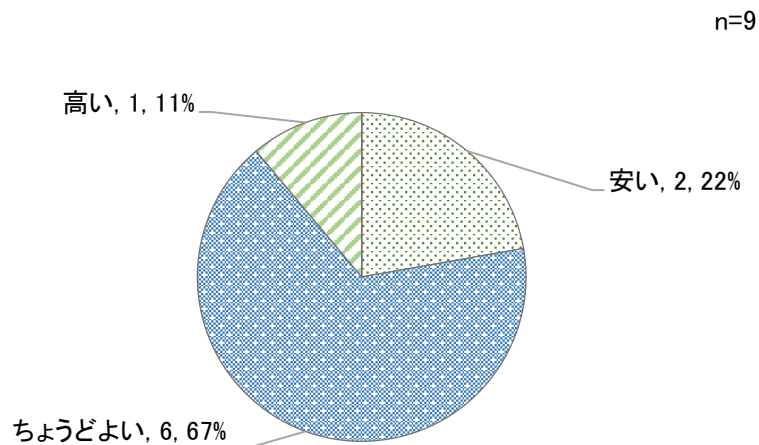
① 住宅の形態

住宅の形態は、「持ち家(一戸建て)」と「賃貸(集合住宅)」がそれぞれ4世帯(44.4%)、「持ち家(集合住宅)」が1世帯(11.1%)となっている。



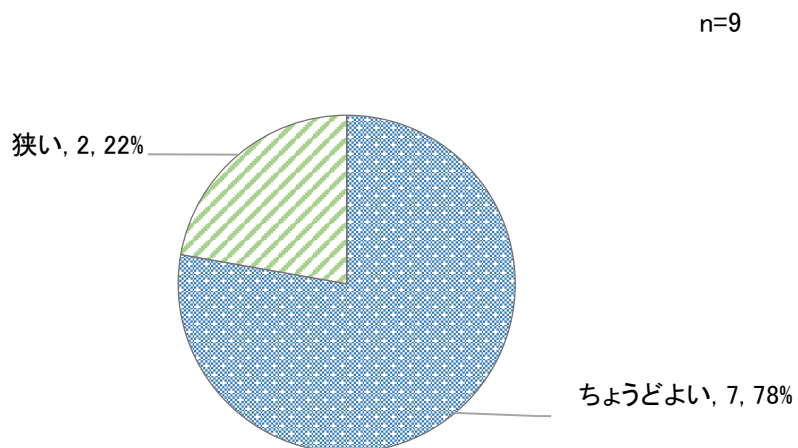
② 価格・家賃の印象

住宅の価格又は家賃の印象については、「ちょうどよい」が6件(66.6%)と最も多くなっている。



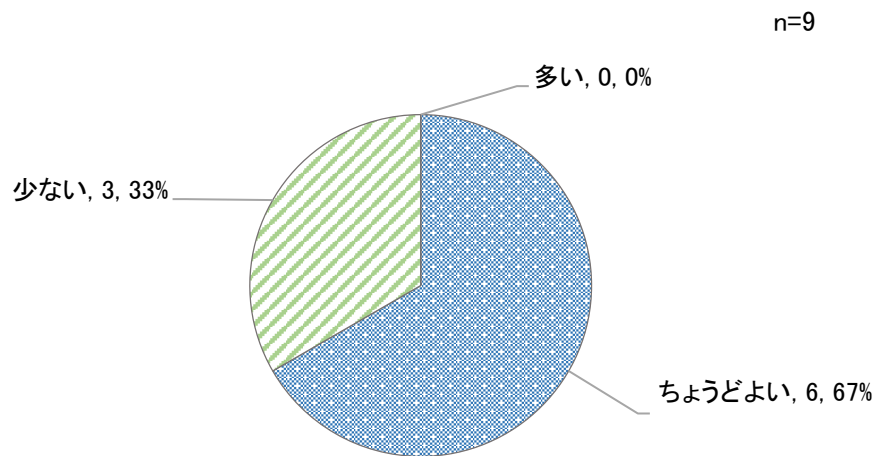
③ 広さの印象

住宅の広さの印象については、「ちょうどよい」が7件(77.7%)、「狭い」が2件(22.2%)となっている。



④ 部屋数への満足度

住宅の部屋数については、「ちょうどよい」が6件(66.6%)、「少ない」が3件(33.3%)となっている。

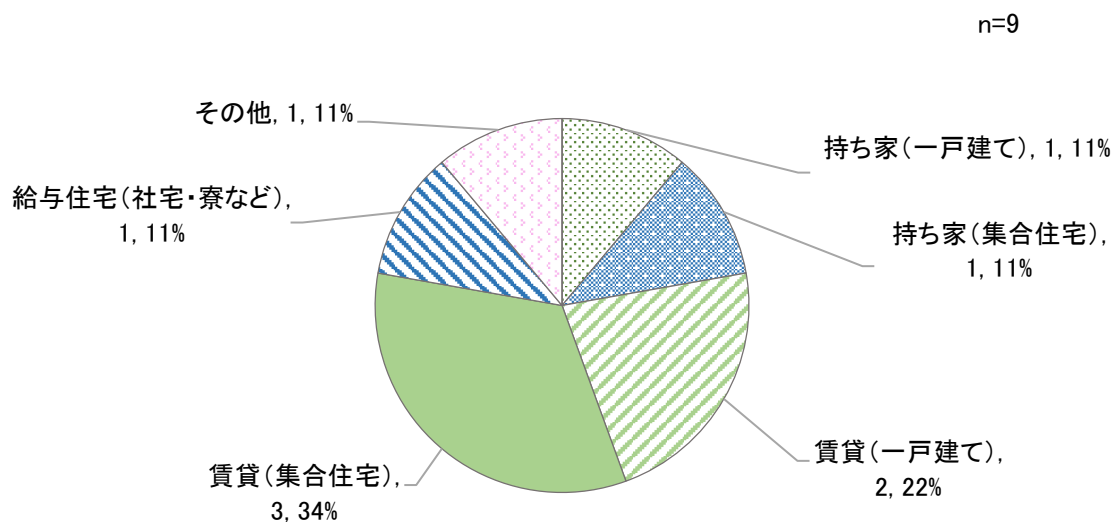


(5) 転出先の自治体について (自治体名を記入)

(調整中)

(6) 転出先のお住まいの形態について (〇印は1つ)

転出先の住居の形態については、「賃貸(集合住宅)」が3世帯(33.3%)、「賃貸(一戸建て)」が2世帯(22.2%)で、賃貸が半数を占めている。「持ち家(一戸建て)」、「持ち家(集合住宅)」、「給与住宅(社宅・寮など)」がそれぞれ1世帯(11.1%)となっている。

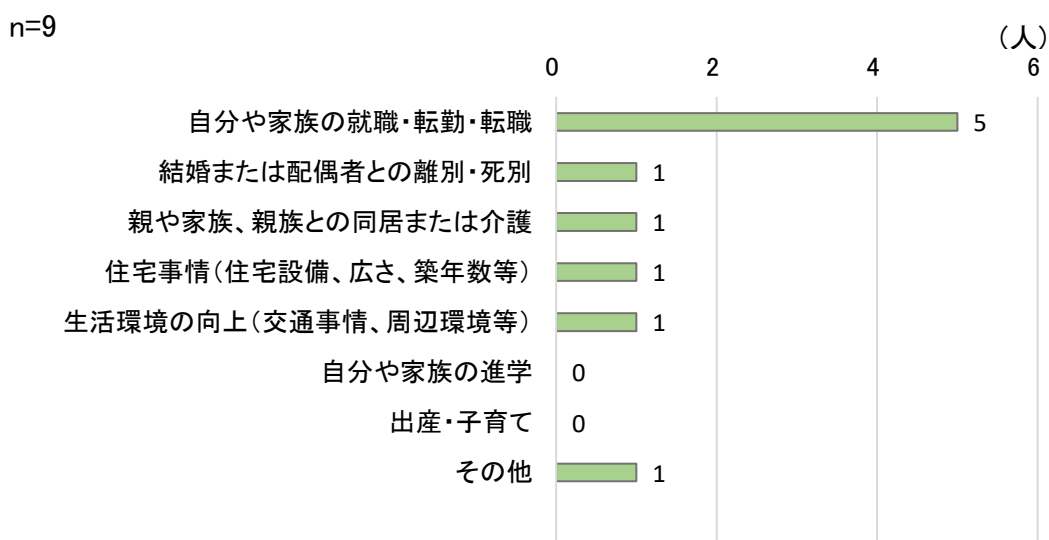




## 2. 朝霞市から転出する「きっかけ」及び「理由」について

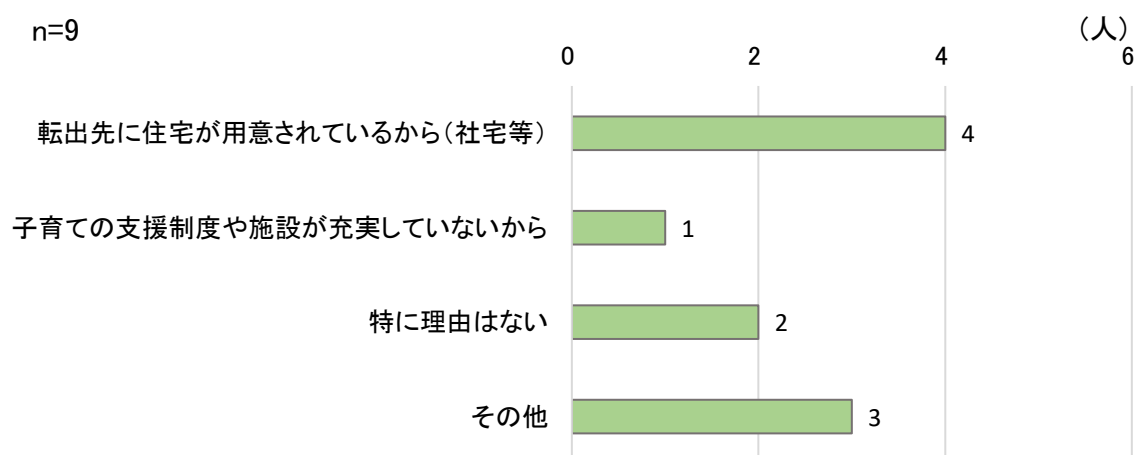
### (1) 主な転出のきっかけについて（当てはまるものすべて）

主な転出のきっかけについては、「自分や家族の就職・転勤・転職」が 5 件（55.5%）で最も多く、「結婚または配偶者との離別・死別」「親や家族、親族との同居または介護」、「住宅事情（住宅設備、広さ、築年数等）」、「生活環境の向上（交通事情、周辺環境等）」がそれぞれ 1 件（11.1%）となっている。



### (2) 朝霞市から転出する理由について（当てはまるものすべて）

本市から転出する理由については、「転出先に住宅が用意されているから（社宅等）」が 4 件（44.4%）、「子育ての支援制度や施設が充実していないから」が 1 件（11.1%）となっている。



(3) 将来、朝霞市に戻る可能性の有無について (〇印は1つ)

将来、機会があれば朝霞市に戻りたいと思うかについては、「ぜひ戻りたい」が 5 件 (55.5%) と過半数を占め、「どちらともいえない」が 4 件 (44.4%) となっている。

n=9

